



霧の中で力強い滑りを見せ、大回転成年男子Aを制した大越

悪条件でも好タイム

霧の中、ゴールで待つ観衆の目に、大越の青いウェアが飛び込んできた。ぶちぎりのタイムに、どよめきと拍手が起こった。「国内では負けられないと、プレッシャーがあった。意地ですわね」。W杯遠征組の実力を示し、ほっとしたように言った。

霧が濃いことも、気温が高く雪がざくざくになることも想定していた。入念にラインを確認してスタートすると、荒れた急斜面でしっかり雪面に板をかませ、振れ幅の大きいターンの衝撃を外足で受け止める。緩斜面のリズム変化を手なずけ、終盤も切れを失わなかった。

「国内負けられぬ」大越

「インスパクション（下見）でコースは暗記した。雪面が荒れているので、加速するというより減速しないようにした」。がちがちに凍った欧州のコースと全く違う雪面も、霧も、ものともしなかった。

昨季からW杯に参戦し、世界のレベルの高さを痛感する日々だという。皆川賢太郎、佐々木明、湯浅直樹に続く若手の代表格として、ソチ五輪での活躍を期待される21歳。「少しずつステップアップしている。4年後はW杯でトップシードに入り、メダルを狙いたい」と力強かった。

(横山清貴)

●アルペン

▽成年男子A大回転 ①大越龍之介(東海大札幌) 1分12秒18②松本(長野・スキースタース長野) 1分13秒08③武田(福岡・サンミリオンエージェンシー) 1分13秒77④石井(東海大札幌) 1分14秒08⑤途中棄権(専大) ⑥途中棄権(専大)

▽霧に苦しむ途中棄権 大回転成年男子Aで、大越とともに優勝候補に挙げられた石井(東海大札幌)は、霧に苦しみ途中棄権した。序盤、急斜面の入り口で「急に前が見えなくなつて」リズムを崩し、板が外れてしまったという。「これか

らつていう時だった」と顔をしかめた。

世界ジュニア選手権回戦3位など、北照高時代から活躍。昨年10月、セルデン(オーストリア)での大回転でW杯デビューし、一つ

年上の大越とともにW杯など海外を転戦している。「高いレベルを経験させてもらつてい

る。もっと成長したい」。アルペン選手らしく、最後は強気な姿勢を取り戻していた。

●距離

▽少年男子10キロクラシカル ①西田颯風(留萌高) 26分29秒9②板井(新潟・小出高) 26分41秒3③高野(新潟・十日町高) 26分56秒6④石川潤(旭大高) 27分24秒4⑤鈴木(旭大高) 27分24秒7⑥神口(留萌高) 27分58秒7⑦徳神口(留萌高) 28分1秒2⑧石川謙(旭大高) 28分30秒⑨藤田(旭大高) 29分6秒4

▽成年男子A10キロクラシカル ①吉田圭伸(冬戦教) 26分59秒5②内田(新潟・日体大) 27分37秒9③杉沼(山形・明大) 27分45秒3④佐藤(日大) 28分02秒⑤本橋(28分31秒)⑥吉田(日大) 28分58秒8

▽同B10キロクラシカル ①本田尚平(冬戦教) 26分52秒1②山岸(滋賀・アインス) 26分59秒8③野上J R(北海道) 27分12秒4④清水目(冬戦教) 28分31秒3

▽同C5キロクラシカル ①神津正昭(新潟・池の平ク) 13分27秒1②細川(青森・自衛隊) 14分14秒7③中葉(青森・自衛隊) 14分26秒9④福土(冬戦教) 14分44秒6⑤江川(遠軽自衛隊) 15分35秒6⑥本間(遠軽自衛隊) 16分14秒7

▽少年女子5キロクラシカル ①高塚美里(秋田・米内沢高) 16分14秒8②佐藤(秋田・花輪高) 16分15秒9③松原(青森・野辺地高) 16分23秒9④細中(旭大高) 16分23秒9⑤小野(旭大高) 16分43秒3⑥祐川(留萌高) 17分13秒7⑦細谷(旭大高) 17分36秒2

▽成年女子A5キロクラシカル ①安部梨沙(新潟・日大) 15分34秒0②小林(新潟・早大) 15分47秒2③矢口(山形・山形県体協) 16分1秒0④御処野(冬戦教) 16分47秒7⑤荒井(同大) 16分47秒7⑥荒井(同大) 17分11秒4⑦吉谷和寒高(早大) 17分11秒4⑧吉谷(早大) 17分11秒4⑨俱知安高(18分7秒6)

▽同B5キロクラシカル ①青木富美子(山形・奥室川高) 15分53秒4②大林(山口・羅漢友の会、旭大) 16分21秒7③藤原長高(16分21秒7)④藤原長野・MAXスポーツク) 16分59秒7⑤石垣寿美子(冬

三洋 攻守に戦力が充実

トヨタ 秉芝之波り上昇気流

あす決勝

シードされて2試合目の三洋より疲労が蓄積している。走り合いの消耗戦になると三洋が有利か。